
私を許して

北川瑞稀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私を許して

【Nコード】

N3034J

【作者名】

北川瑞稀

【あらすじ】

「どうか、私を許して。」

少女はひとり、静かに少年を想う。

お願い、今はただ、眠っていて。

「しーんいちー！」

阿笠博士から借りた鍵で扉^{ドア}を開けて、いるはずの住民にむかって
声をはりあげる。

広い家なので、声や音は響くはずなんだけど…中からは何も聞こえない。

そう、ここは新一の家。

今日は夕食をつくりに行くって約束したのに…新一、いないのかな？

…まあ、いいか。
それならそれで、先に作ってよう。

「おじゃましまーす…」

そろゝつと家の中へ入る。

“約束した”という大義名分があるけれど、こういうのは泥棒みたいでなんとなく嫌だ。

…付き合っているわけでもないのだから。

その時突然、ガタツという大きな音がした。

…あれ、新一いるのかな？

音が聞こえたほうへと向かう。

そこにいたのは、予想通りの人物。

静かに、安らかに（っていうと死んだみたいだけど）、新一は眠っていた。

夢でも見ているのかな？

…もし見てるなら、その夢のなかに私は出てきているのかな？

考えられない、考えられない。それしか考えられない。

まるで蜘蛛の糸に絡まったよう。

動けない、君の前から。

欲望が、胸の中で渦巻く。

…どうか、私を許して。

私は新一の横に寝転がった。
顔が、息が、近い。

彼の手に、そっと自分の手を重ねた。

…お願い、起きないで。

せめて、この手のぬくもりを覚えていられるまでは。

「…しんいち…」

ここにはいない、あなたの姿をなぞって。

心のなかで、何度も何度も繰り返す。

好き、スキ、すき。

届かない言葉は、空へと舞い上がる。

やがて、あなたの元へ降り注ぐように。

この想いが、罪だというのなら、すべてあなたに捧げます。

だから、だから………。

…そう、日常はいつも傍アタリマエにあるわけじゃない。

わかってる、つもり。

だけど、気付けば遠い場所にいた。

何もわかってなかった。…あの頃の私は。

止められない。

良いコじゃ、いられない。

あなたの前では、この想いを止められない。

…どうか、その何もかも透かしたような瞳^めで、
本当の私を見つけ
て。

ずっと待ってる。

ずっと、ずっと…。

（後書き）

…蘭ちゃんがかなり変なことになってるような…気が…。

最初はわりとふつうの恋愛物だったんですが……。

気分を害された方、すみません。

…気付いた方もいらっしゃるかと思いますが、水樹奈々さんの「夢幻」が元になってます。

読んでくださりありがとうございます！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3034j/>

私を許して

2010年10月21日21時34分発行